

神宮東門バス停から探る熱田

【はじめは素朴な疑問から】なぜ市バスのバス停名は、「神宮前」ではなくて「神宮東門」なの？

鉄道の駅前にあるバス停は、普通は駅の名前ですが、神宮前駅の前にある市バスのバス停は「神宮東門」になっています。名鉄のほかの駅は「〇〇駅」です。

それはなぜなのか疑問でした。

神宮前駅は昔「神宮東門駅」だった？と調べてみましたが駅名は変わっていませんでした。困ったときの「福島コレクション」。調べてみると…



▼福島コレクション
「電鐵市營記念繪葉書」 (大正11年)



当初の市電の停留所名「神宮東門」に合わせたのではないかな。(推測ですが)

名古屋電気鉄道は、熱田駅前～熱田傳馬町間が明治41年開通。市電は、名古屋電気鉄道の電気軌道事業を買収して大正11年開業。その年の路線図には「神宮東門」という停留所名がありました。神宮前駅は、明治45年開業。市バスは、昭和10年開業。これだ(^.^♪

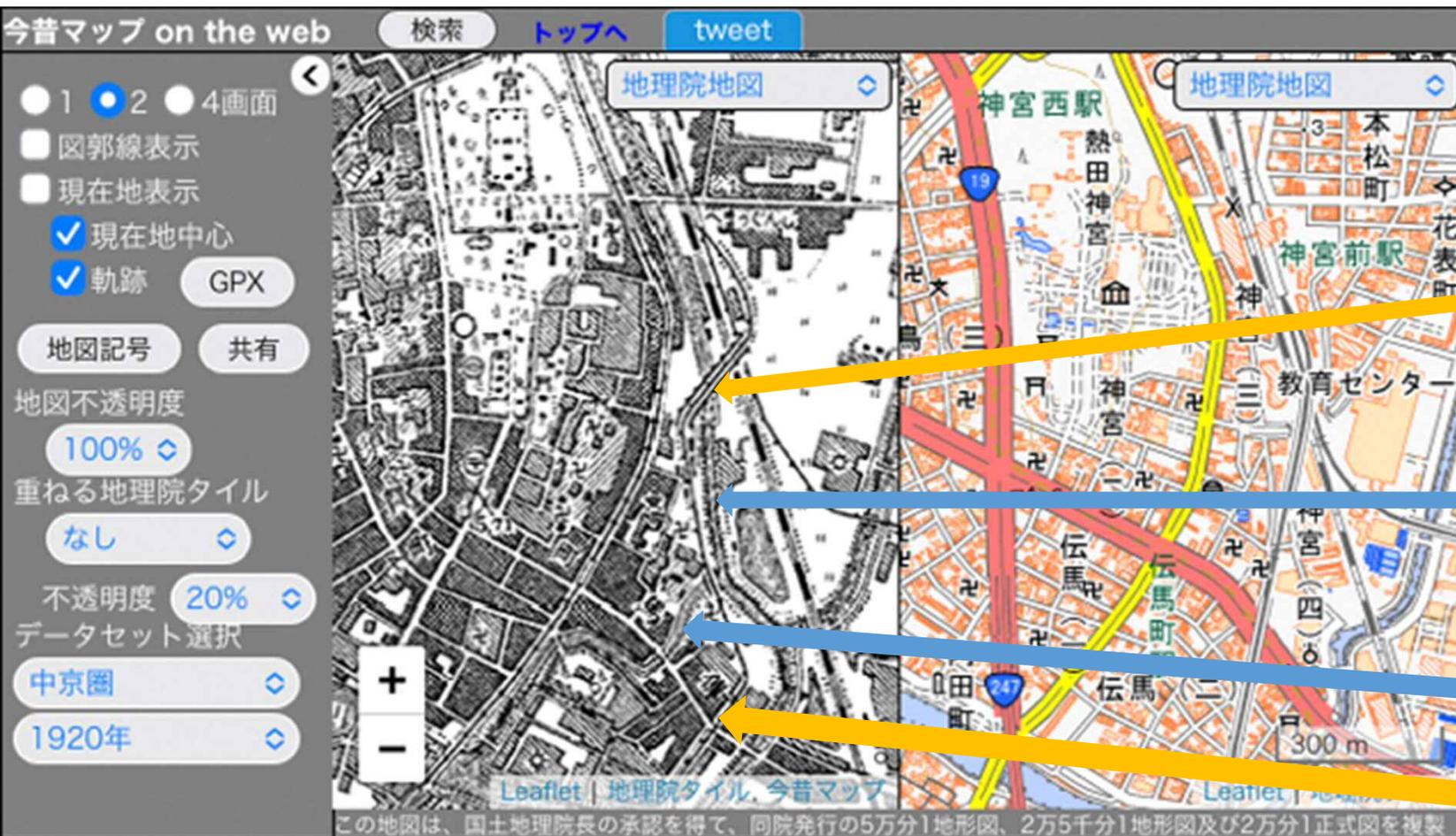
(ただし、その後、「熱田神宮前」停留所に統合されたようです。)

ところが、この路線図を見ていると、さらなる疑問が・・・

【さらなる疑問】川と名鉄常滑線が今と違うように見えるけど、なぜ？

大正9年の国土地理院地図によれば、
河川も名鉄常滑線も今とは違ってきます。

「今昔マップ」というサイト
では新旧の国土地理院地図を
並べてみるができます。
これによれば、
今はない運河や
線路の姿が…



旧名鉄常滑線

旧熱田運河

旧精進川

旧傳馬町駅

▲今昔マップ on the web 国土地理院地図



旧河道の位置

旧熱田駅の位置

熱田運河（姥子川運河）について

国鉄熱田駅は、開業時は現在地の南約1.6 km地点にありました。明治29年に現在地に移転するにあたって、熱田駅と熱田港を結ぶ運河が開削され、区役所の位置に船溜まりがあったそうです。昭和初期に埋め立てられました。

精進川について

精進川は屈曲して水害が絶えなかったことから、新堀川を開削。旧河道は埋め立てられ、現在痕跡は見当たりません。

名鉄常滑線旧ルートについて

昭和30年の住宅地図で詳細なルートが判明しました。次頁の地図に赤で加筆しました。

名鉄常滑線旧ルートを歩いてみました



旧名鉄常滑線の跡地をたどって見ましたが、教育センター南の道路の形状が不自然であること以外に、何も痕跡は残っていませんでした。

バス停名ひとつから、いろんな歴史が掘り起こせるのも熱田区の魅力ですね。



▲国土地理院地図に加筆

